

平成25年度関東高等学校バスケットボール新人大会

ALL Kantoh Rookies 2013 in Chiba



(女) 1回戦

試合日: 2014/02/08
 開始時刻: 12:30~
 会場: 八千代市民体育館
 コート: Dコート
 試合順: 第3試合(女)1回戦

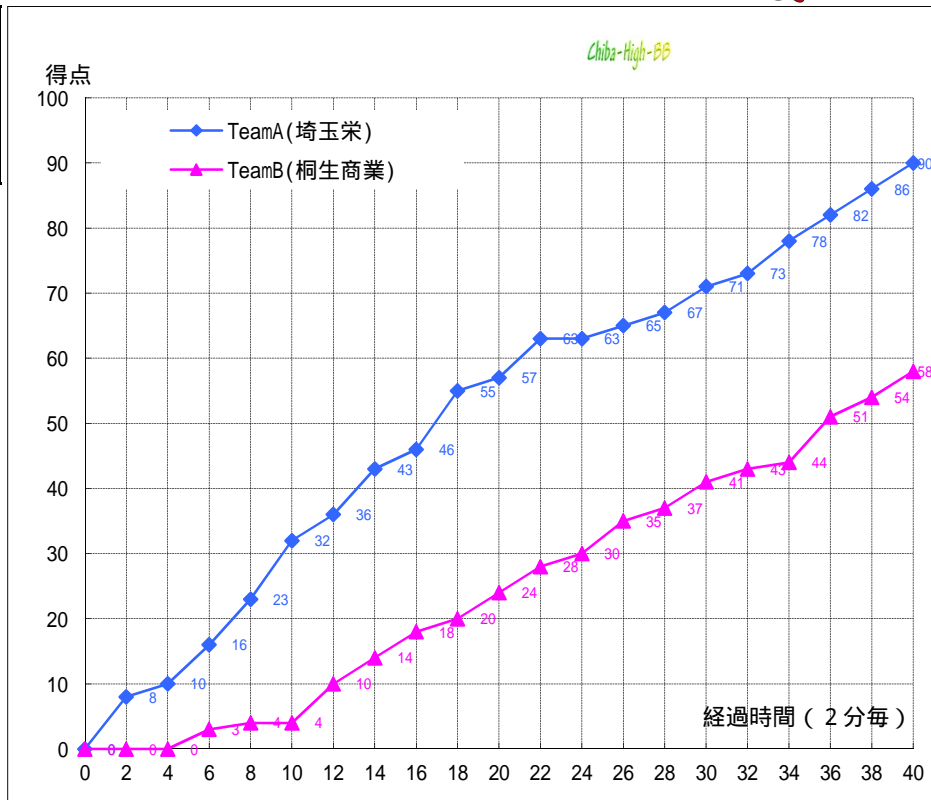
Team A		Team B															
埼玉栄	90	桐生商業															
(埼玉)	<table border="1"> <tr><td>32</td><td>-</td><td>4</td></tr> <tr><td>25</td><td>-</td><td>20</td></tr> <tr><td>14</td><td>-</td><td>17</td></tr> <tr><td>19</td><td>-</td><td>17</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	32	-	4	25	-	20	14	-	17	19	-	17				58
32	-	4															
25	-	20															
14	-	17															
19	-	17															
		(群馬)															

TeamA(埼玉栄)

PT	選手名	得点	シュート			反則	リバウンド			アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			3P	2P	フリース		off	def	計			
4	新井季音乃	15	0	5	5	1	0	2	2	4	-	2
5	今村ひかり	19	1	7	2	5	3	4	7	-	1	1
6	ナウタヴァイ絵美理	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	植村莉子	11	1	1	6	3	1	4	5	2	-	4
8	柿沼あゆみ	11	3	1	0	1	2	0	2	1	1	3
9	田島菜月	8	0	4	0	2	1	2	3	-	-	3
10	藤野希生	12	0	5	2	3	1	3	4	1	-	1
11	海淵梓	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
12	松田美咲	4	0	1	2	0	0	2	2	-	-	-
13	渡邊あゆみ	2	0	1	0	0	0	2	2	1	-	-
14	古川夢子	6	0	3	0	1	1	7	8	1	-	-
15	佐々木春奈	0	0	0	0	1	1	0	1	-	-	1
16	福岡ほの香	2	0	1	0	0	0	0	0	-	-	-
17	中屋明	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
18	島田茜	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:						0	0	1	1			5
合計		90	5	29	17	17	10	27	37	10	2	15

TeamB(桐生商業)

PT	選手名	得点	シュート			反則	リバウンド			アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			3P	2P	フリース		off	def	計			
4	井田 菜奈美	6	0	2	2	3	3	4	7	5	2	2
5	山口 かりん	28	0	12	4	3	2	6	8	0	1	3
6	金子 ひかる	2	0	1	0	1	2	2	4	1	1	2
7	須田 菜名未	6	1	1	1	4	1	4	5	0	0	5
8	飯泉 紗樹	2	0	1	0	5	1	4	5	0	0	3
9	山本 怜奈	12	1	3	3	4	1	3	4	1	0	1
10	金子 ひかり	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0
11	宇治川 愛	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
12	高橋 莉央	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	元井 杏奈	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	武 日向	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
15		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	高瀬 愛莉	2	0	1	0	2	0	1	1	5	0	7
18	西條佑治	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:						0	0	3	3			1
合計		58	2	21	10	24	10	28	38	12	5	26



タイムアウト

	前半(1-2P)タイムアウト	後半(3-4P)タイムアウト	延1	延2	延3	延4
TeamA		34:15				
TeamB		35:24 38:14				

【戦評】

試合開始早々、埼玉栄 #4 新井の鋭いドライブインシュートが決まる。埼玉栄は第1Pから激しいオールコートマンツーマンプレスをしかけ、開始4分で12対0と一気に試合の主導権を握った。一方桐生商業は埼玉栄のプレッシャーに圧倒され、リズムをつかめない。桐生商業はハーフコートマンツーマンディフェンスでその流れを止めたいが、その勢いは止まらず、32対4で第1P終了。第2Pは桐生商業 #6 金子のバスケットカウントで始まり、その後も #5 山口の力強いゴール下シュートで得点を重ねる。しかし、埼玉栄も負けじと #4 新井、#5 今村、#8 田島を中心に一進一退の攻防を見せ、57対24で前半を終了。第3Pは互いにミスやターンオーバーが続くようにペースをつかめないまま、このピリオド12対13で桐生商業が1点勝ち越して最終第4Pに突入。第4P途中から桐生商業はオールコートマンツーマンプレスを切り替え、追い上げを図るもその点差は縮まらず、90対54で試合終了となった。第1Pの入り方が試合の勝敗を分ける結果となった。

審判	坂田 愛 / 中谷 聡一 /
----	----------------

記入者	島村 拓也
-----	-------